

1 アンケート調査の実施概要

(1) 調査目的

令和8年度から始まる「第五次総合計画後期基本計画」の策定及び「まちづくり基本計画」の見直しのための基礎資料とするため、一般町民及び転入5年以内の町民を対象としたアンケート調査を実施しました。

(2) 調査設計

調査は以下の内容で実施しています。

	一般町民アンケート	転入者アンケート
対象者	満18歳以上の町民	転入5年以内の18歳以上の町民
対象人数	1,500人	500人
抽出方法	住民基本台帳から無作為に抽出	
調査期間	令和6年7月18日(木)～8月7日(水) ※8月末までに到着したものを集計	
配布方法	郵送配布	
回答方法	郵送回答	

(3) 回収結果

回収結果は以下に示す通りです。

	配布数	回収数	白票	有効回収数	回収率
一般町民	1,500	471	1	470	31.4%
転入者	500	198	0	198	39.6%

(4) 留意事項

- ①図表中の「総数」及びカッコ内の数値は設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比(%)を算出するための基数となっています。
- ②図表中の構成比(%)はすべて小数点第2位以下を四捨五入して算出しています。そのため、数値の合計が100%にならない場合があります。

1 主な調査結果

(1) 定住意向

【一般町民】

●定住希望者が 83.4%と、全体の8割以上を占めています。平成 31 年に実施した前回調査と比較するとわずかに増加しています。

【転入者】

●転入者の定住希望者は 81.8%となっており、一般町民と比較するとわずかに比率が低くなっています。前回調査との比較では、定住希望者の比率はほぼ横ばいとなっています。

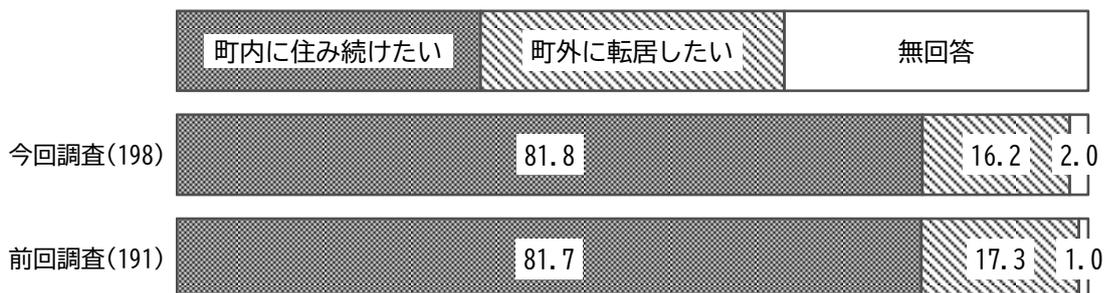
■一般町民

単位:%



■転入者

単位:%



(2) 施策の重要度・満足度

【一般町民】

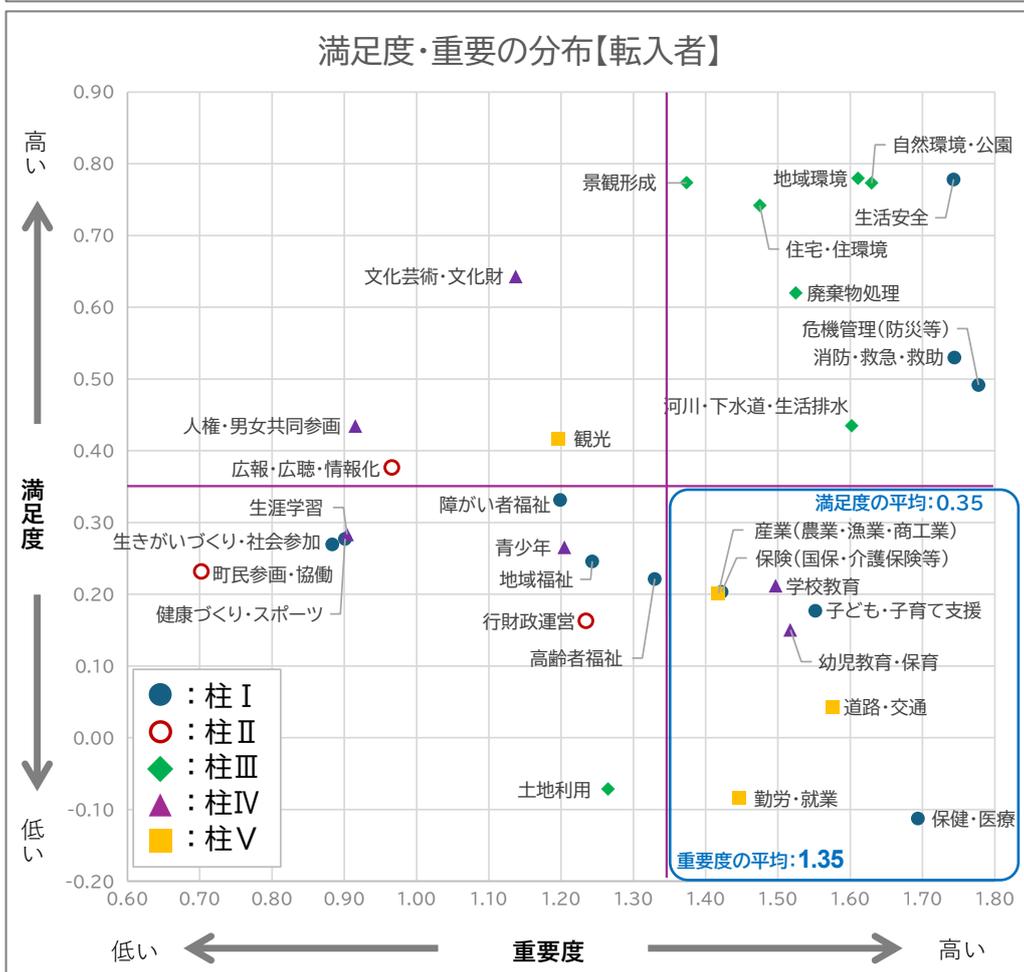
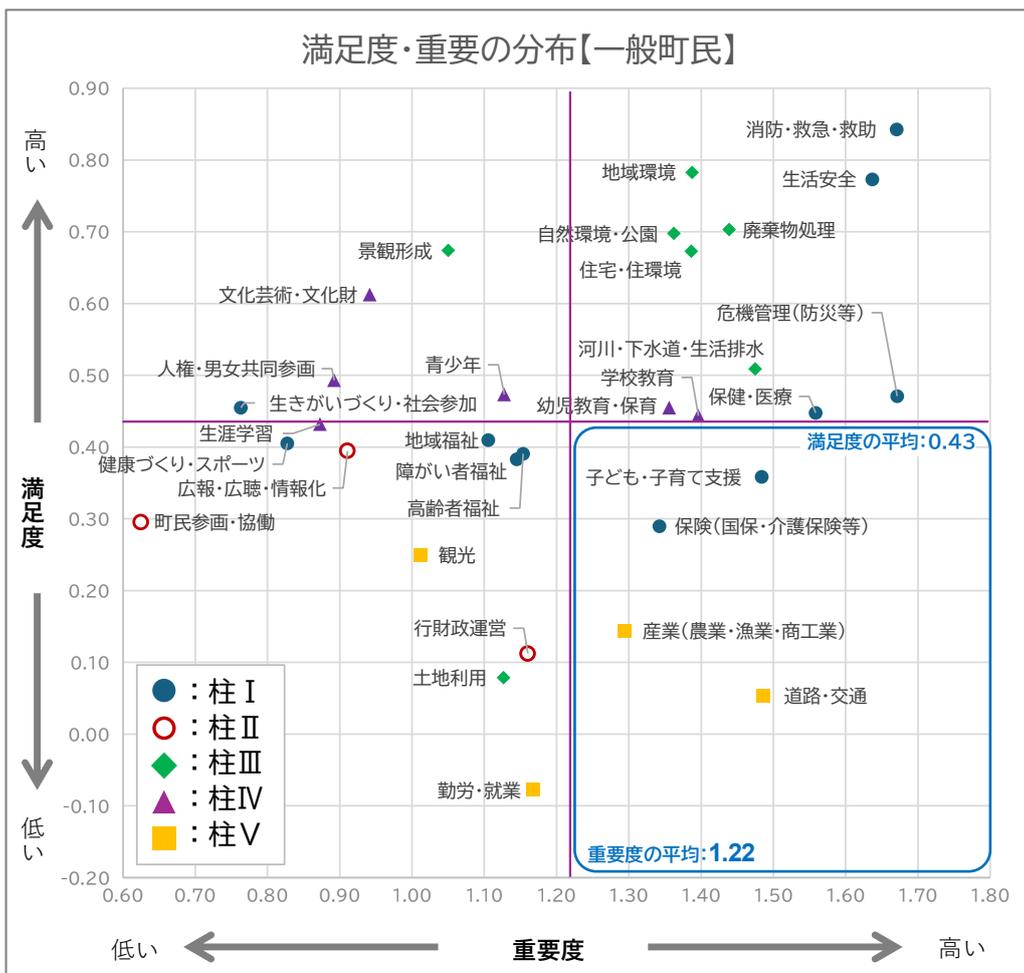
●今後、重点的に力を入れる必要がある重要度が高く、満足度が低い施策（重点改善施策：図中青枠内）は、柱Ⅰの「子ども・子育て支援」及び「保険（国保・介護保険等）」、柱Ⅴの「道路・交通」及び「産業（農業・漁業・商工業）」の合計4施策となっています。

●満足度についてみると、柱Ⅲの施策では高い一方、柱Ⅴの施策は低い傾向がみられます。

【転入者】

●重点改善施策は、「子ども・子育て支援」、「保険（国保・介護保険等）」、「道路・交通」、「産業（農業・漁業・商工業）」は一般町民と共通ですが、転入者では、柱Ⅳの「学校教育」及び「幼児教育・保育」、柱Ⅴの「勤労・就業」が該当しており、合計7施策となっています。

●一般町民と転入者を比較すると、重要度では、柱Ⅰの「景観形成」及び「自然公園・公園」、柱Ⅴの「勤労・就業」で、転入者の方が高く、満足度では、柱Ⅰの「保健・医療」及び「消防・救急・救助」、柱Ⅳの「幼児教育・保育」で、転入者の方が低くなっています。



(3) 幸福度・満足度

【一般町民】

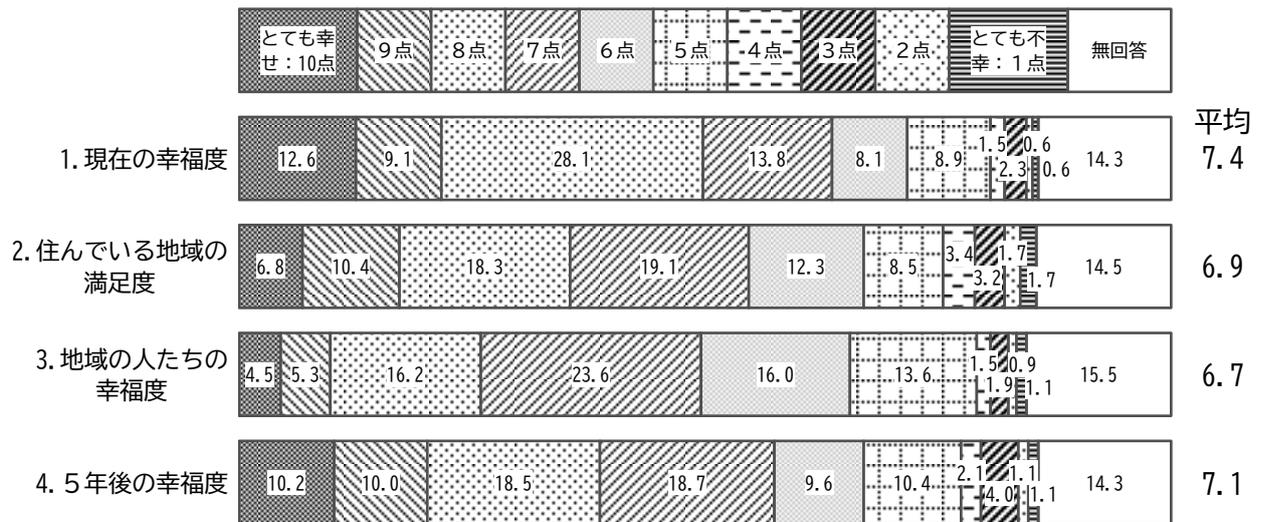
●「現在の幸福度」及び「5年後の幸福度」は平均が7点を超えている一方、「住んでいる地域の満足度」及び「地域の人たちの幸福度」は6点台と若干低くなっています。

【転入者】

●転入者では、4項目ともに平均が7点以上となっており、一般町民に比べて幸福度・満足度が高くなっています。特に「現在の幸福度」及び「5年後の幸福度」では、2割以上の方が10点満点をつけています。

■一般町民

単位：%



■転入者

単位：%

